

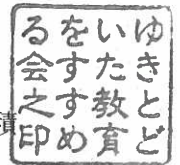
2025年12月1日

山口県議会
議長 柳居 俊学 様

請願代表者

住 所 山口市大手町 2-18 山口県教育会館内

氏 名 山口県ゆきとどいた教育をすすめる会代表 山 本 善 積



住 所 山口県宇部市大字際波の場 370 宇部鴻城高等学校内

氏 名 山口県私学助成をすすめる会会長 小 倉 章 雄



他 15,763 名

小・中学校、高校の少人数学級実現、私学助成の増額、 教育費の父母負担軽減、障害児教育の充実を求める請願書

請 願 趣 旨

すべての子どもたちにゆきとどいた教育を保障することは、県民すべての願いです。その実現のために教育予算を充実、教育条件や教育環境の改善が求められています。

長引く物価高騰で貧困と格差はますます広がり、子どもたちの成長・発達、心身に深刻な影響を与えています。OECD 平均である 20 人程度の学級に比べ、学級規模は大きすぎます。高等教育における私費負担割合も OECD 平均の倍以上です。子どもたちのいのちと健康を守り、学びを保障していくためには、教育の無償化実現や 20 人学級を展望した少人数学級のさらなる前進、教職員の増員、養護教諭や学校栄養職員・栄養教諭等の配置拡充等のゆきとどいた教育条件整備が必要です。

多くの学校で教職員の未配置が生じ、学校現場では、産前産後休暇や病気休暇、育児休業等の代替教職員が見つからない「教育に穴があく」状況が数カ月続くなどいっそう深刻です。しかし国は教職員定数を毎年削減し続けており、改善には程遠い状況です。教職員は長時間の時間外労働を強いられながらも「子どもたちのために」と、自分を奮い立たせています。教職員の負担軽減をすすめるとともに、正規の教職員を増員することが求められています。あわせて、私立高校等経常費助成補助の大幅増額し、私学でも専任の教職員を増員できる条件整備をすることが必要です。

高校や大学等での教育無償化を実現するためにも、高等学校等就学支援金制度の拡充、給付奨学金制度のさらなる拡充など、国際人権 A 規約 13 条 2 項「無償教育の漸進的導入」を具体化し、子どもたちが安心して学べる教育条件整備を前進させるべきです。また、保護者の教育費の負担を軽減することが重要です。給食無償化は、給食の安全性を保った上で実現できる予算確保が必要です。

つきましては、すべての子どもたちにゆきとどいた教育をすすめ、心かよう学校をつくるために、請願事項についてすみやかに実現されますようお願いいたします。

請 願 事 項

1. 教育予算を増額してください。
2. 小・中学校での 30 人以下学級、高校 35 人以下学級を早期に実現してください。
3. 教員未配置が生じないよう、採用人数を大幅に増やしてください。
4. 複式学級の解消をさらにすすめてください。
5. 教育費の無償化にむけて、父母負担の軽減をすすめてください。
6. 安全安心な給食を無償で提供してください。
7. 私学助成の国庫補助制度を守り、私学助成を増額してください。
8. すべての障害児に障害と発達に応じた生活と教育の場を拡充してください。
9. 学校の耐震化・老朽化対策、教室の断熱化、バリアフリー化を早急にすすめてください。
10. 特別教室や体育館にエアコンを設置してください。

以 上